

# 緑の風 FAX版

NO. 56  
2013年12月26日  
JR東労組  
本部情宣部

## フィリピン台風被災地へ 困難な時にこそ支援を！現地で支援活動！

エドガー委員長に支援金を手渡す



2013年11月フィリピンを襲った台風30号は現地に甚大な被害を残しました。新聞やニュースによれば死者4011名、行方不明者1602名と報道されています。JR東労組は被災地への支援行動として一人一週間10円カンパに取り組みました。また、12月7日から10日まで現地に赴きカンパで集めた支援金を手渡すとともに、支援物資を購入し、現地の方々に直接手渡す活動を行ってきました。

今回の活動にはJR東労組から5名が参加し、現地のフィリピン国鉄労組のエドガー委員長、フィリピン船舶職員部員組合のオカ委員長を中心として活動してきました。

12月7日、カンパで集めた支援金で約1800軒相当の釘、金槌、スコップ、トタン屋根、ノコギリなどの建築資材を購入しました。

マニラを船で出発し、約30時間かけてセブ島北部へ向かいました。船にはJR東労組以外にも現地の医療スタッフが約20名、実習生約50名と一緒に乗り込み、生活物資や医薬品も運びました。9日に現地に到着しましたが、港が破壊され接岸できないため、沖合いに停泊して支援活動を行ないました。

カンパ金で購入した支援物資を船に積み込む



被災地の状況

具体的には建築資材や日用品の配布、医療活動などを乗組員と私たちが分担して行い、2日間かけて取り組みました。周辺の島からも支援物資を受け取るために小船で来るなど、私たちの支援は着実に広がっていることを実感できるものでした。

また、被災地の一つドーン島にも足を運び、被災状況の視察や、現地の人たちとの交流も行い、ヒューマニズムに基づく私たちの取り組みは被災者の方々に大変喜んでられました。詳細はルバンペール126号に掲載します。

船で支援物資を受け取りにくる現地の人々



## 一人一週間10円カンパへのご協力ありがとうございます！